

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホームあそうだ  
 作成日：平成26年9月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	近所への散歩や買い物はできているが、利用者様の要望が反映された外出支援があまりできていない。	月に利用者様1名の割合で、利用者様が本当に行きたいところに外出支援を行っていく。	利用者様本人やご家族より情報を提供して頂き、職員が計画を立て、思い出の場所への外出や外食・映画・買い物などを月に利用者様1名の割合で、利用者様本人の要望が反映された外出支援を行っていく。	1ヶ月～9ヵ月
2	38	職員側の決まりや都合によるケアは行わないよう努力しているが、レクリエーションやお手伝いなどに工夫が少なく、ワンパターン化している。	利用者様一人一人に合った個別レクや日々のお手伝いを見つけ出し、日々の生活に楽しさを増やしていく。	ご家族様からの情報や職員のアイデアなどから利用者様が興味のあることを見つけ出し、無理がない継続性が高い個別のレクリエーションを企画し、実行する。	2ヶ月
3	16	2ヶ月に1度行われる地域運営推進会議やアンケート調査などで、ご家族様の要望・意見などの把握・対策に努めているが、まだまだ不十分な点があり、ご家族様との信頼関係がしっかり築かれているとは言えない。	ご家族様との信頼関係の構築。	ご家族様の面会時に利用者様の近況報告を行っていく。面会が少ないご家族様に関しては定期受診などを利用して近況を電話報告する。あと、定期的に行っている担当者会議(カンファレンス)も確実に実施しコミュニケーションを深めていく。	3ヵ月
4	2	地域密着型施設でありながら、地域のオピニオンリーダーとの連携が弱い。	地域密着型施設として、地域のオピニオンリーダーとの連携を図り、入居者様の地域住民としての認識を図りたい。	現場リーダーをはじめ、各スタッフに地域の広報活動を行って頂き、傾聴ボランティアの発掘、地域のオピニオンリーダーとの交流を図っていく。	3ヵ月
5	52	日中、リビングルームのレースカーテンが閉まっていることが多く、外から見た時に閉鎖的な印象がある。	天候などを十分に配慮して、開放的な明るい雰囲気づくりを行う。	外からも館内の様子が分かるようにレースカーテンも開けるように心がけ、採光にも十分に配慮して開放的な明るい雰囲気を作っていく。	直ちに

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。